

岸和田地区 保護司会だより

発行	岸和田地区保護司会 岸和田市別所町3丁目12-1 岸和田市立保健センター内3F メ 野 久寿喜 TEL 072-438-6660
発行責任者	寺 田 博
印刷所	三 陽 印 刷 所

2019 (平成31)年



蜻蛉池公園 スイセン

保護司信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって、

1. 公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
1. 明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防に努めます。
1. 常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

平成31年度迎春に向けて

岸和田地区保護司会

会長 久 野 久 寿 喜



新年明けましておめでとうござい
ます。皆様方も清々しい新年をお迎
えのこととお喜び申し上げます。本
年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年は皆様方のご協力で岸
和田地区保護司会の定足数八十二名
を達成することができ、又、岸和田
保護司会のOB会が高橋会長、松
端副会長の役員のもと二十一名で
発足することも出来ました。本当
にありがとうございました。

昨年の主な取り組みについて述
べさせていただきます。五月三日
の市民フェスティバルでは初めて
テントを借りて、アカルイーネ
ちゃんのぬいぐるみとともに七月
十四日の社明大会のPRを行い、
ご来場の方から大変人気を得まし
た。七月七日の街頭啓発は大会の
一週間前に予定していましたが残
念ながら雨のため中止となりました
。社明大会の後、七月二十日大
変暑い日にもかかわらず岸城中学
校の部活の生徒、約一〇〇名が南
海岸和田駅付近で落書き消しと社
明の啓発活動に取り組んでくれま
した。

また、岸和田市役所担当課と数回
意見交換（更生保護活動が福祉活動
であることの理解を得ました）を行
い、副市長も交え更生保護について
の認識を行政側に高めていただきま
した。社会福祉協議会とも意見交換
を行い、岸和田の福祉政策（就労支

援・生活支援）について学ばせてい
ただきました。

本年は更生保護制度施行七十周
年を迎え、大阪府下各地で種々の
記念行事が開催されるでしょう。
又、来年二〇二〇年は東京オリン
ピックの年で、岸和田地区保護司会
七十周年の記念の年でもあります。

振り返れば、平成十一年四月の
改正保護司法で保護司組織の役割
が法定化されたことにより、保護
司会が自治体や各種団体の協力を
得て、積極的な活動を展開するよ
うになりました。

平成二十九年五月に社会福祉法
の一部が改正され、この改正によ
り市町村は、市町村地域福祉計画
を策定するよう努めると共に、計
画の記載事項として福祉に関し共
通して取り組むべき事項を追加す
る事に努めることとなりました。

この法改正に伴い、平成二十九
年十二月、厚生労働省から市町村
長にも「市町村及び都道府県地域
福祉支援計画の策定ガイドライ
ン」が示されています。

当ガイドラインでは、市町村地
域福祉計画の策定に当たり、再犯
防止推進計画との関連として、次
の二つの事項が示されています。

一、市町村地域福祉計画に盛り込む
べき事項（1～5項目）の内、
関連する項目は

○再犯防止推進法の成立を踏ま

え、高齢者又は障がい者などを
はじめ、保健医療・福祉などの
支援を必要とする犯罪を犯した
者に対し、必要な保健医療・福
祉サービス、住まい、就労、そ
の他生活困窮への支援などを適
切に提供し、かつ、これら地域
での生活を可能とするための施
策を総合的に推進するための方
策及び体制に関し、地域福祉と
して一体的に展開することが望
ましい事項が示されています。

二、再犯防止推進法に規定される地
方再犯防止推進計画など関連す
る他の計画の策定の際に、地域
福祉として一体的に展開するこ
とが望ましい分野については、
地域福祉計画にも位置づけるな
ど活用していくことが示されて
います。

このガイドラインを岸和田市へ
の要望として本年も強く働きかけ
る所存です。

結びに、岸和田地区サポートセ
ンターが設立され、七年目を迎
え、岸和田市の更生保護機関とし
ての機能の充実と役割を果たして
いく所存であります。昨年と同様
更生保護女性会・協力雇用主会を
始め、各種関係機関との連携を図
り、岸和田地区保護司会が更に岸
和田市の更生保護活動を進めてい
くためにも本年もご支援・ご協力
をよろしくお願いいたします。

新年を寿ぎ謹んで

慶びを申し上げます

岸和田地区更生保護女性会

会長 殿本 マリ子



平素は保護司
会様におかれま
しては更生保護
女性会活動に多
大なる御協力を

賜り有り難うございます。

社明運動、泉州寮炊事奉仕活動、街頭啓発、中学生との駅周辺の清掃活動等、より多くの市民の方々に更生保護を知って頂くために協力し合い、活動できることを嬉しく思います。又、昨年は市民フェスティバルにも、活動普及のために参加させていただきました。保護司会の役員の方々の準備の下、アカルイーネちゃんにも登場してもらい、更生保護活動の取り組みを知って頂くためのチラシ等を配布させていただきました。

最近の社会は色々なことがスピード化し、犯罪も複雑多様化しております。特に、スマートフォンひとつで何でもできる世の中になり、あの小さな機械で犯罪を犯

す人も多くなってきました。しかし、社会は目まぐるしく変わっても、保護司会、更生保護女性会には人に寄り添い、柔軟かつ寛容である「人の心」というものを一番大切に、活動を行っていく団体です。

地道な活動ではありますが、私達の活動は犯罪防止の礎になり、受け継がれることを願います。そして、私達更生保護女性会が保護司会の活動に少しでも役立ち、より良い社会が構築されるように、微力ではありますが頑張っていきたいと思います。

昨年は身近で発生した詐欺事件等も多くありましたが自然災害も多く、猛暑、台風、豪雨、地震が各地を震撼させました。今なお罹災され、復旧支援を必要とされている地域も多数あります。このような自然災害においても、更生保護活動と同様に地域との連携や諸団体との情報交換を持つことが重要だと考えられます。更生保護女性会は、日頃、子育て支援、あいさつ運動等で地域との繋がりを持っています。この様な災害時にこそ、お互いに助け合っていかな

ければなりません。地域のひととの繋がりが、青少年の育成と犯罪防止に、そして、災害時における活動にも一翼を担うと考えます。

本年は皆様にとって、犯罪や災害等を心配せずに過ごせる穏やかで平凡な一年でありますように願うばかりです。



新年のご挨拶

岸和田地区協力雇用主会

会長 石田 幸浩



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は保護司会の皆様はじめ諸団体の皆様方にはご支援

ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

現在、岸和田地区協力雇用主会では二十二社の事業主が登録、希望者には刑務所の視察研修やセミナー等に参加していただいております。

犯罪や再犯の防止、自立や就労の支援といった更生すべき手助けになれるよう微力ながら協力してまいる所存でございます。

本年も皆様方と共に明るい社会を目指しよい年になるよう願っております。

最後になりましたが、昨年の災害被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。



受賞・表彰の 栄誉を 受けられた方々

平成三十年度大阪更生保護大会が、十一月二日(金)十三時から大阪国際交流センターにおいて開催され、次の方々が表彰を受けられました。
おめでとうございます。

法務大臣表彰

石橋 美八枝

全国保護司連盟理事長表彰

木岡 仁 司
古石 健 一

近畿地方更生保護委員会委員長表彰

赤坂 博文
櫻井 新 嗣
藤本 一 善
前田 正 文
本村 博 司
雪本 貴 司

近畿地方保護司連盟会長表彰

長田 喜代子
田中 隆 治
萬屋 興 司

大阪保護観察所長表彰

坂田 和 博
大 家 久 良
柿 本 早 月 子
西 河 美 江 子

大阪府保護司会連合会会長表彰

岩崎 郁 代
川 原 一 紀
小 山 藤 夫
杉 阪 敏 秋
前 田 順 一郎



法務大臣表彰を受けて

石橋 美八枝



平成三十年十一月二日、大阪更生保護大会にて法務大臣表彰を受彰しました。会場では前

方に席が設けられ、名前が呼ばれることを事前に聞いていましたので、心の準備をして出席しました。返事をして演壇に向かつて立ち、最後の人が呼ばれてから全員が後の客席に向って立った時は、とても緊張しました。

平成九年に保護司の委嘱を頂いて、二日間の新人研修に臨みました。「保護司とは」から始まって、更生保護関係の説明や書類の書き方等次々と聞いていくうちに、これから人に関わっていく責任の重さを痛感しました。その時の心身の疲れと、配布された資料の重さをまるで昨日のことのように覚えています。

楽天的でおおざっぱな性格の私に勤まるのか不安になりましたが、その不安を消して頑張る意欲を持たせてくれたのは、先輩保護司の様々な経験にもとづいた助言でした。

若い頃の私は、誰にでも気軽に話すことが苦手で相手に話している内容が伝わっているのか心配でした。自分では気づかなかったことですが、会話をしている途中で私は、自分の頭の中で先々を考えていて、その結論を話してしまうことがあったようです。その事を注意されてから、人と話す時には気をつけて話すように心がけています。

私の長所のひとつに、何事も一生懸命に取り組むところがあります。どなたかのアドバイスに、「例会には出席すると勉強になる」と言われて、必ず出席するように心がけました。実践報告や意見交換会で、発表される先輩方の話は興味深く、保護観察や環境調整等の心がまえや、様々な問題に直面した時の対応について学びました。

それを少しでも、自分の知恵として身につけられるように精進してきました。毎回、とても楽しみにしていました。今も、その気持ちは変わりません。

とても偉そうに書きましたが、いつもあれで良かったのかと反省ばかりしています。

皆様のお陰と感謝しています。ありがとうございました。

四部会 活動報告

総務部

部長 柿本 孝治

現在までに実施しました二つの行事についてご報告いたします。

一つ目として、去る十一月二日、大阪国際交流センターにおきまして「平成三十年度大阪更生保護大会」が関係者多数の参加のもとに盛大に開催されました。岸和田地区保護司会から十二名、更生保護女性会から四名参加いたしました。

本大会は、府下の更生保護の最先端で活躍している関係者が一堂に会し、意識の統一と士気の高揚を図るとともに、更生保護制度の一層の充実に期するため毎年実施されています。

又、本大会では、長年にわたりご功績のある方々を対象とした表彰が行われます。

今年度は、本会から法務大臣表彰一名、全国保護司連盟理事長表彰二名、近畿地方更生保護委員会委員長表彰六名、近畿地方保護司連盟会長表彰四名（内助功労含む）、大阪保護観察所長表彰四名、大阪府保護司会連合会会長表彰五名の方々が表彰の栄に浴されました。

受賞者の方々には、これまでのご苦勞とご功績に敬意を表するとともに

に今後、益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

二つ目としては、十一月の定例会及び懇親会を十一月九日に岸和田グランドホールにおいて開催いたしました。

冒頭、先の大坂更生保護大会で受賞されました方々に、表彰状と記念品の授与式を行い、長年、保護司として更生保護事業に尽力されたご功績をたたえました。

懇親会では、各々、情報や意見の交換をしながら、苦勞話に花を咲かせ、終始和やかに楽しいひと時を過ごしました。

会員相互の親睦と連携を図ることにより、今後の保護司活動がより一層充実したものとなる有意義な場として続けてまいりたいと思います。

結びに、各行事にご参加頂いた方々のご協力により、円滑に実施できましたことを改めて感謝し御礼申し上げますとともに、今後の総務部会の活動に、より一層のご支援ご協力をお願いし現況の報告といたします。

研修部

部長 浜崎 美知世

平成、最後の年となった本年も地区の皆さんのご支援とご協力を得て、統一研修・自主研修を中心に取り組んでまいりました。平成三十年度の部会報告をさせて頂きます。

◆統一研修四回講師 濱井 観察官

◎第一期 平成三十年六月

テーマ「秘密保持について」
保護観察や生活環境調整の担当をすれば、事件の担当のみならず、対象者等の前科前歴、家族の構成、心身の状況など、個人情報に触れることになる、他人に知られたくない事柄も多く含まれている。

保護司法にも保護司の守秘義務が規定されています。秘密保持については慎重な配慮が必要であり、情報の取り扱いには細心の注意を払うことが重要である。情報の取り扱いへの配慮が十分でなかった場合には保護観察への信頼を損ねる結果になりかねない。本研修では、秘密保持の重要性を再確認するとともに、事例を通して、どのような点に配慮すべきかを学ぶ。

◎第二期 平成三十年九月

テーマ「報告書の見方・書き方」
保護観察や生活環境の調整を行う上で、保護司が作成する報告書は、非常に重要な役割を果たしている。

今回の研修では、新たに発行された「平成三十年度版 保護司の手引き 保護観察・生活環境の調整の進めかた」を用いながら保護観察経過報告書（甲）の報告書の意義や記載方法について実習を通して学ぶ。

◎第三期 平成三十年十二月

テーマ「往訪にまつわる諸問題」について研修を行う。

◎第四期 平成三十一年二月

テーマ「自由テーマ」を元に研修を行う予定。

◆自主研修

◎第一期 平成三十年五月

テーマ「高齢者・薬物依存者をいかに支えるか」

講師 更生保護法人和衷会施設長 藤本昌夫氏

ケースを担当していると往訪時の家族との会話や来訪時の世間話の中に、違和感を覚えることがある。月に二、三回の接触ですべてを知るのは難しい。過去の犯罪歴から見て精神的な刺激や薬物使用がきっかけとなって、重大な再犯に展開しかねない。何といっても対象者の変化に気づくのは家族です。家族が対象者の日常に変化があればすぐ連絡を貰えるよう、家族に理解を求めておくこと、又、主任官への連絡と協議、気になるケースの危機管理が大事と学ぶ。

◎第二期 平成三十年十月

DVD上映会 お好み焼き「千房」の協力で、タイトル「ある出所者の二年間」十一分「生きなおし・ある出所者の七〇〇日」四十六分

一人の青年が自分自身と向き合いながら逞しく成長していく姿

に感動しましたが「千房」の社長「過去は消せないが未来は変えられる!」との信条が心に深く響きました。

◎第三期 平成三十一年三月
初めての試みですが郊外研修を予定しています。皆さんのご参加、宜しくお願い致します。

◆研修部会

◎第一期 平成三十年六月
七月十四日の社会を明るくする運動「市民集会」当日の研修部会の役割の確認、十月度自主研修の進捗状況報告対象者との課題について先輩保護司との意見交換

◎第二期 平成三十一年一月開催予定 ◆保護司三年未満の新人研修

◎第一期 平成三十年九月
濱井觀察官に出席して頂き開催。全員の自己紹介から始め、研修で学んだ書類の書き方への質問や、その他の質問に觀察官より詳しく説明して頂き有意義な新人研修となりました。

◎第二期 平成三十一年三月
自主研修終了後に開催予定です。
※研修部会・新人研修も回を重ねるごとに充実しており、三年未満の保護司さんを対象に行う新人研修では皆さん活発に質問や意見を述べて下さり、何時も頼もしく思いながら開催させて頂いてきました。この一年も皆様には大変お世話になり本当にありがとうございました。

組織部 部長 本村 博

新年あけましておめでとうございます。組織部会より部会報告をさせていただきます。本年度の会員の異動につきましては、永年にわたりご尽力をいただきました三分会の加守田卓義氏が平成三十年五月二十四日付にて定年退職されました。新任保護司につきましては、平成三十年五月二十五日付にて一分会の清水良和氏が、平成三十年九月二十五日付にて一分会の川端征子氏、五分会の正田浩三氏、及び三分会の杉本哲夫氏の四名の方々が岸和田地区保護司として委嘱されました。この時の会員数は男性六十七名、女性十五名、合計八十二名となり久方ぶりに八十二名の定員を満たすことになりました。尚、本年度はこの後の新任保護司の委嘱はございませんが、現在ご活躍中の五分会の須田徳彦氏が平成三十一年一月二十四日をもって定年退職されます。よって平成三十年度末の会員数は八十一名となる予定でございます。新任保護司の推薦方法につきましては昨年度に手順を図式化しわかりやすくしたところでございますが、円滑に運用ができていますものと考えています。

社会を明るくする運動での組織部の役割は駐車場出口での駐車料

金の支払いですが、今回もたいへん暑い中、組織部の皆様には最後まで従事していただきありがとうございます。

秋には泉州寮生の激励会を行いました。昨年は台風の影響で中止となりましたが、十月二十一日の泉州寮は昨年とはうって変わって「秋です」という雲一つないさわやかな晴天に恵まれました。十時に開会し泉州寮理事長、木村晴男氏と保護司会のメ野会長にご挨拶をいただきました。その後五名の寮生にお土産を渡しました。お土産の靴(百均ですが)は長さが六〇、七〇cmもある大きなものでした。中は関係団体の皆様からいただきましたバスタオル、タオル、石鹸粉、洗剤、ティッシュペーパー、カップ麺それに大きな袋いっぱい詰められたお菓子でした。会食のパーベキューやおにぎり等は全て更生保護女性会でやっていたいただきました。寮生は五名でしたが食欲旺盛で焦げた肉や野菜も「大丈夫です」とパクパク食べていました。殿本会長も「肉が少し足りなかったかなあ」と言っておられました。寮生たちは全員が本場に明るく気さくな青年たちで、私たち参加者も今までになかったくらい寮生と打ち解けてたくさん話をしました。最後は、泉州寮施設長の溝 己貴男氏と更生保護女性会の殿本会長に

ご挨拶をいただき閉会しました。追伸、泉州寮担当の古石保護司が寮生全員にイジラレながらもお爺ちゃんのように慕われ、戯れ談笑していたのが印象的でした。
来年は役員改選ですが組織部が担当します。



広報部 部長 寺田 博

今年度の「社会を明るくする運動」として、七月十四日(土)午後二時から、岸和田市立文化会館で、「平成三十年度少年非行・被害防止、暴走族追放強調月間」第六十八回「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ「強調月間」の市民集会を実施しました。主催は、第六十八回「社会を明るくする運動」岸和田

地区推進委員会、岸和田市青少年問題協議会、主管は、岸和田地区保護司会、岸和田地区更生保護女性会、岸和田地区協力雇用主会です。



集会では岸和田地区更生保護女性会会長殿本マリ子氏の開会の言葉の後、久米田高等学校太鼓部のみなさんによる力強いオープニングがスタートしました。その後、メ野久寿喜岸和田地区推進委員会委員長の内閣総理大臣メッセージ紹介、永野耕平岸和田市長、雪本秀樹岸和田市青少年問題協議会副会長の主催者挨拶、大阪保護観察所堺支部長田中栄治様、岸和田市議会議長京西且哲様、大阪府岸和田警察署生活安全課課長代理警部平井健一様の来賓挨拶、及び来賓紹介、主催者紹介を行いました。

続いて第二部では、「社会を明るくする運動」作文コンテストの入選者表彰・作文発表が行われました。

その後、NPO法人チェンジライフ理事長の野田詠氏さんによる「心のバリアフリーを目指して」の講演を行いました。最後に、岸和田地区協力雇用主会会長石田幸浩氏の決意表明で閉会しました。

そして、今年度も十七団体、十九事業主、六個人の皆様から、社会を明るくする運動の協賛金を戴きました。この運動を通して犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めるだけでなく、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、地域すべての人がそれぞれの立場で関わっていくよい機会となりました。

ご参加ご協力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。



新任保護司の紹介



清水 良和
校区 山直北
趣味 ヨガ・登山
座右の銘 特になし

これまで地域では青少年指導員やPTA活動、また自治会の活動にも携わってきましたが、保護司に推薦と最初にお話をいただいた時は、はたして私に務まるものかと不安が先に立ちました。

しかし平成三十年五月に委嘱を受け、次に新任保護司研修、さらに定例会や小中学校の先生方との会合にも出席させていただき、また先輩方のお話も伺うことができ、徐々にではありましたが役割を理解しつつあるというのが現状です。さらに保護観察官のお話や研修を通じて保護司として社会に果たす役割の大きさを認識し、責任の重大さを改めて感じました。

まだまだ不安ではありますが、保護司の先輩方のご指導を受けながら務めてまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。



川端 征子
校区 山直北
趣味 旅行・音楽
座右の銘 継続は力なり

この度、先輩の保護司様の推薦を頂き、委嘱をお受けすることになりました。

まだスタート地点に立ったところで、右も左も分からない状態です。本当に自分が役目を果たせるか不安でいっぱいですが、新人研修を受け増々責任の重さを感じています。何事も一から勉強あるのみと頑張りたいと思っています。保護司の先輩の皆様まにご指導をいただきながら、人の心に寄り添うことができるように経験を積んで行きたいと思っています。

先輩保護司の皆さま、ご指導のほどよろしく願っています。皆様に一歩でも近づけるように努力して行きたいと思っております。





杉本 哲夫
校区 城北
趣味 映画鑑賞
座右の銘 特になし

この度、先輩の保護司さんからお誘いをいただきまして、今年九月に保護司の委嘱を受けました。十月には、新任保護司研修(前期)を受けてまいりました。

予備知識の乏しい私は、分厚い手引書やガイドブックを目の前にして、初めて耳にするような専門用語や仕組みの説明で、研修を受けていて、ただただ驚きと感心するようなことばかりでございました。

その時は、これは大変なことを引き受けてしまったという思いと一方では、保護司として、少しでも地域社会にお役に立てればという思いとで揺れ動いていました。保護司の活動は私にとって経験の無い別世界の道でございます。このあと、どのような対象者さんと会うことになるのか分かりませんが、保護司の活動を通じて、私自身も人間的に成長できる所もあるような気がしています。最近はこのようなことも感じている次第でございます。

今後は、先輩の皆さま方のご指導を仰ぎながら経験を積んで成長していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。



足田 浩三
校区 朝陽
趣味 音楽鑑賞
座右の銘 全力投球

平成三十年九月二十五日に委嘱を受け皆様の仲間入りをし保護司の活動を行なう事になりました。

十月の初めての研修で保護司の使命や職務など役割りの重要性、又更生保護の意義及び保護観察の必要性について学びました。その責務の重さを現在実感しています。が、まだまだ奥深い知識と経験の積み重ねも必要だと思います。

最近では犯罪や非行の件数が減少傾向だと聞き良い事だと思っております。犯罪や非行を事前に防ぐことが大切だと思います。地域社会の皆さんにも呼びかけ事前に防ぐ活動にも力を入れたいです。

今後は研修などにも積極的に参加をし知識の向上を図り、先輩の皆様にご指導やアドバイスをいただきながら全力投球で地域社会のお役に立てる様に頑張りますのでよろしくお願いいたします。



丸山 みき代
校区 城内
趣味 登山、旅行、ボートリング
座右の銘 為せば成る

昨年三月末に教職を定年退職し

ました。教員時代には、地域の保護司の方々の活動を拝見し、大変

なご苦労にいつも頭が下がる思いでいっぱいでした。退職を機に先輩の保護司さんから推薦をいただきました。私などには到底務まる仕事ではないとは思ったのですが、最近では女性の犯罪者も増え、女性に対して男性が対応することが難しい、ぜひ女性の保護司が必要だとのお話を聞きし、こんな私でもお役に立つことがあるのであればと、不安いっぱいの中お受けすることにしました。

長年務めた教職では、褒めて伸ばすということを心がけてはいましたが、叱ることも多く、つい指導になってしまいました。研修や先輩のお話から、保護観察の基本は共感し、本人が更生しようという気持ちになるように見守り支えることだと教わりました。教職での経験も生かしつつ、先輩の皆様にご指導を仰ぎながら、一所懸命頑張ります。どうかよろしく願っています。



松下 貴志
校区 天神山
趣味 バイクツーリング
座右の銘 何とかなるさ

地域の先輩の方々の推薦をいただき、保護司の委嘱を受け、早いものでもうすぐ一年を迎え

ることとなりました。

保護司活動がどのようなことかもあまり分からず、お引き受けさせていただきましたが、何度かの研修・会合に出席させて頂き、改めてその職務の重大さに気づき身の引き締まる思いであります。

犯罪から立ち直る社会の現実是非常に厳しく、再犯の可能性も高い中、私の職務がそれら犯罪の減少・犯罪からの立ち直りに対し、微力ではございますが、一役果たせればと考えています。

若輩者ではございますが、今後とも保護司の諸先輩方の指導を仰ぎ、ボランティア活動を通して、地域社会から犯罪をなくし、地域で支える社会づくりに貢献してまいりたいと思います。何卒よろしく願っています。

編集後記

皆様のご協力により、保護司だより「第三十七号」を発行することができました。お忙しい中、執筆いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。